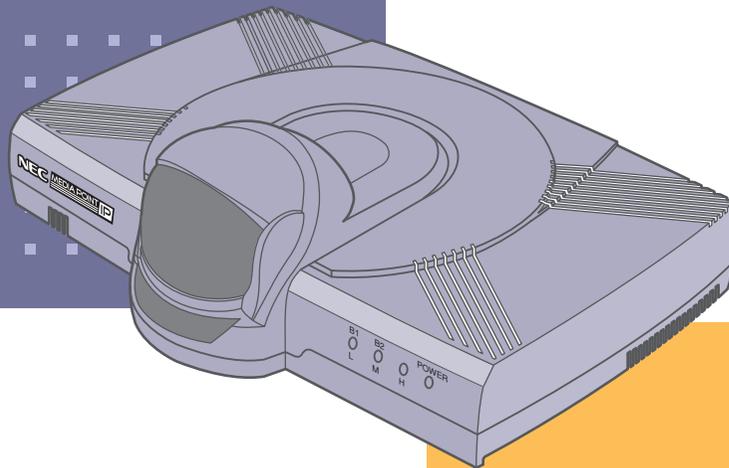


MEDIA POINT **IP**

MediaPoint IP2編

リファレンスガイド



目次

はじめに	2
使用上のご注意	2
ご使用前に	7
リモコン操作方法	10
ランプの説明	11
セットアップ	12
初期設定	14
会議を行う	16
便利な機能	18
システム設定	20
ネットワーク設定	21
ポート番号	22
切断理由コード	23
故障かな?	27
アフターサービス	28
仕様	29
オプション品	30
保証書	30

はじめに

このたびはMediaPoint IP2をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 本書は、装置を安全にお使いいただくための使用上のご注意、セットアップの方法、操作の方法、および故障かなと思ったときの対処のしかたなどを説明しています。
 本書をよくお読みになり、末永くご愛用ください。

使用上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

警告マークについて

本書で使用している安全に関わる表示と、図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。



警告 指示を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意 指示を守らないと、人が障害を負うおそれがある内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告表示の種類



発煙または発火のおそれがあることを示しています。



感電のおそれがあることを示しています。



けがを負うおそれがあることを示しています。



安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。



安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。



安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。

電源に関するご注意



警告



- 電源はAC100V ±10V(50/60Hz)の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷により、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは、必ず本機に添付のものをお使いください。他のものを使用されると、火災、故障の原因となります。



注意



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。



- 濡れた手で電源プラグおよびACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。感電の原因となることがあります。

- 機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

保管および使用環境に関するご注意



警告



- 本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- 設置環境条件は温度5～35℃/湿度20～80%です(結露しないようにご注意ください)。



注意



- 本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 本機を不安定な場所(不安定な台の上や傾いた所など)に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。

- 本機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。
- 本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズが入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用ください。
- 本機は空冷のため、通気孔に物を置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本機の側面を5cm以上空けてください。

禁止事項



警告



- 本機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。



- 当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- 当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は危険ですから絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

- 本機内部の点検、調整、掃除、修理は、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに依頼してください。



注意



- 本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

異常時およびトラブルに関するご注意



警告



- 万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



注意



- 落雷のおそれがあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。



お手入に関するご注意



注意



- 本機のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 必ずアース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。



- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

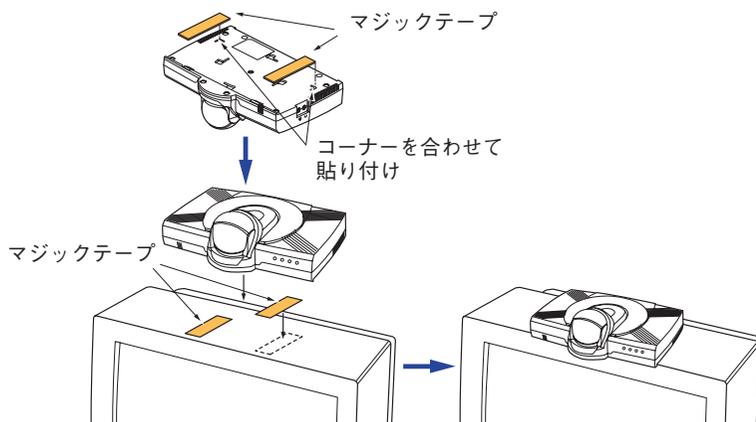
廃棄時のご注意

本機器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店にご依頼ください。

テレビの上に設置する際のご注意

落下防止のため、添付のマジックテープで固定してください。

テレビの上に置くときは、テレビ前面の上端にMediaPoint IP2本体前面下部の突起を掛けるようにしてください。



輸出時のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用の前に

本装置の特長

MediaPoint IP2は、電動カメラを内蔵し(TC-2200C)、ADSL/FTTH/企業内LANなどのブロードバンドネットワークとISDNを標準装備した少人数用テレビ会議システムです。

◎ 専用の高性能マイクに対応

7kHz帯域高性能エコーキャンセラーと話者方向自動検出機能を実装した専用マイク(Advanced Microphone Unit)を接続することで、話者方向の感度を高めるとともにエコーの発生を抑え、臨場感のある会議ができます。

◎ 最新動画像CODECを搭載

ITU-T勧告H.261およびH.263に加え、最新動画像CODECであるH.264を搭載し、低レート通信でも高画質で滑らかな画質で通信できます。

◎ ITU-T勧告に準拠

ITU-T勧告に準拠しており、当社テレビ会議装置だけでなく、他社のテレビ会議装置とも接続できます。

◎ 2種類のネットワークに対応

IPネットワークとISDNの2種類のインターフェースを標準装備し、必要に応じて回線を選んで通信することができます。

◎ 電動カメラを内蔵(TC-2200C)

電動カメラ(PAN/TILT/光学2倍・デジタル2倍ズーム)を内蔵しており、すぐに会議を始められます。

◎ 通信中の状態監視

帯域保証がないネットワークを使用した場合、ネットワークの混雑などにより音声途切れたり、映像がエラーすることがありますが、本装置では独自のパケットロス補償機能により、安定した通信を確保できます。

◎ PPPoE対応

PPPoEプロトコルをサポートしており、ADSLモデムに直接接続して使用することができます。

◎ UPnP対応

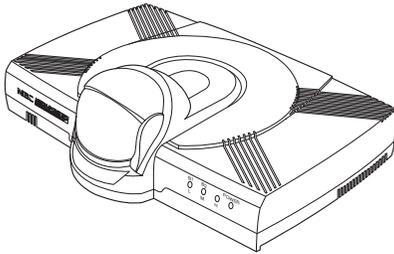
UPnP機能を標準装備していますので、WAN(インターネット)とLANの間にUPnP対応のルーターが設置されている場合、UPnP機能を有効にすることで、ルーターに対して自動的にポートマッピングを行い、NAT越えができます。

製品と付属品を確認してください

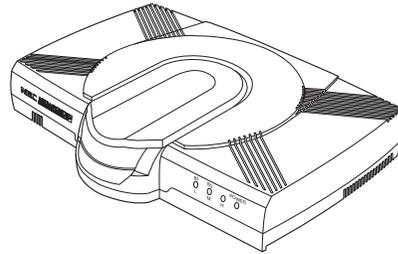
MediaPoint IP2をご使用になる前に、箱の中身を確認してください。

※お買い上げいただいた製品の種類により、MediaPoint IP2本体が異なります。

MediaPoint IP2本体

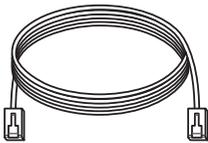


TC-2200Cモデル



TC-2200Nモデル

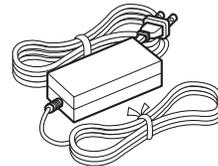
回線ケーブル
(LAN/ISDN兼用)



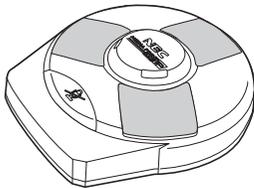
AVケーブル



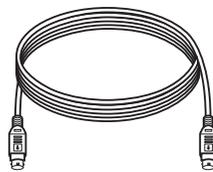
ACアダプタ
(ACケーブル付)



AMU



AMU接続ケーブル



専用リモートコントローラ

マジックテープ

取扱説明書 (CD-ROM)

リファレンスガイド (本書)

アルカリ単三乾電池 (2本)

MediaPoint IP2 の情報提供

ホームページ(<http://www.nec-eng.com/>)でMediaPoint IP2に関する以下のような情報を提供しています(提供予定のものも含む)。

- 取扱説明書
本書に記載していない設定、操作に関するより詳細な内容を記載しています。
付属品として添付している取扱説明書(CD-ROM)の最新版となります。
- Q&A
- 最新ファームウェアに関する情報
- オプション機器情報
- IPネットワークへの接続のための技術情報
- 他のテレビ会議システムとの接続実績に関する情報

設置場所

1. 使用する回線と機器を確認します。

MediaPoint IP2をご利用いただくには、ISDN回線またはIP通信のできる回線(企業内IPネットワーク・FTTH・ADSL・ケーブルテレビ等)が必要です。設置の前に、回線が使用できる状態になっていることを確認してください。

また、ターミナルアダプタ(TA)やADSLモデムなどの電源が入っていることを確認してください。TAやADSLモデムなどのご使用方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

2. MediaPoint IP2(カメラ)の設置場所を決めます。

見やすくきれいな画像を送るために、以下の点に注意してMediaPoint IP2(カメラ)の設置場所を決めてください。

- 背景には物を置かず、動きの少ない場所で
背景に濃淡があったり、後ろで人が歩き回ったりすると、画像が見にくくなります。背景色は明るい単色で統一すると画像が見やすくなります。
- 被写体が明るくなるように
被写体が暗いところにいたり、逆光になったりすると画像が見にくくなります。
ライトを当てるなど、被写体に光が当たるようにすると、きれいに映ります。

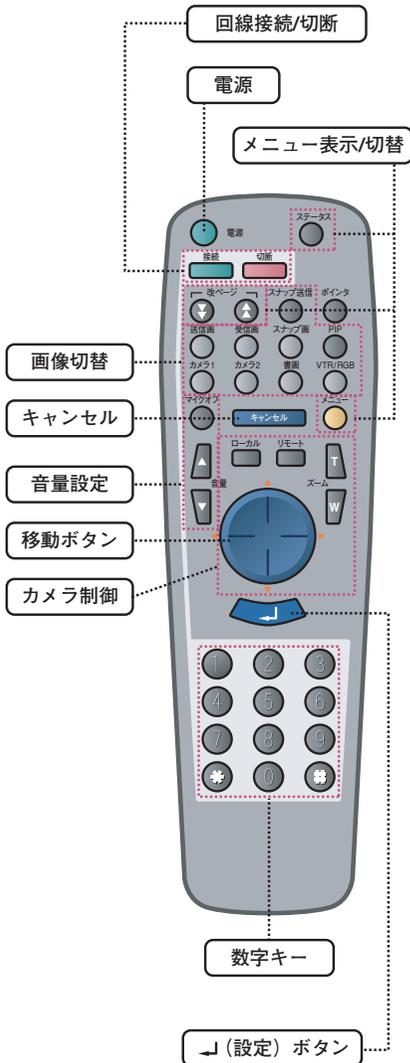
3. AMUの設置場所を決めます。

聞きやすい音声を送るために、以下の点に注意してAMUの設置場所を決めてください。

- 振動の少ない場所へ
会議机が振動するとノイズの原因となります。
机の端を避け、揺れにくい場所に設置してください。
また、机やAMUを叩いたりしないようにしてください。
エアコンなどの風が直接AMUに当たる場所は避けて設置してください。
- マイクに近づきすぎない
AMUは、すべての方向から声を收音するための高感度マイクを3か所備えています。通常の会議のようにお話してください。
マイクから口元まで、1m程度の距離でお話してください。マイクに近づきすぎると音割れやノイズの原因となります。
- スピーカーに近づけすぎない
AMUをスピーカーに近づけすぎるとハウリングが起ることがあります。AMUとスピーカーは、なるべく離れた場所に設置してください。

リモートコントローラ操作方法

リモートコントローラ



全般

電源	スタンバイ電源のON/OFFを行います。主電源のON/OFFは、本体電源スイッチで行います。
キャンセル	メニュー表示の解除などを行います。文字入力時に文字削除にも使います。
↓(設定)	登録・設定中に入力した項目を確定します。
数字キー (0~9、#、*)	電話番号やIPアドレスの入力などを行います。IPアドレスの区切り()は「#」で入力されます。

回線接続 / 切断

接続	回線接続メニューを表示します。
切断	回線を切断します。

メニュー表示 / 切替

メニュー	メニュー画面を表示します。
ステータス	通信状態を確認できます。
改ページ (▲/▼)	メニュー画面や短縮ダイヤル画面など、複数の画面で構成されている画面のページの切替えを行います。
移動ボタン (△▽◀▶)	登録・設定を行うときに、設定項目を選択します。

画像切替

画像切替ボタン	ボタンに対応する画像 (送信画や受信画、カメラ1・2) の切替を行います。
---------	---------------------------------------

カメラ制御

カメラ制御ボタン	ズームや移動など、カメラの動作を制御する動作を行います。
----------	------------------------------

音量設定

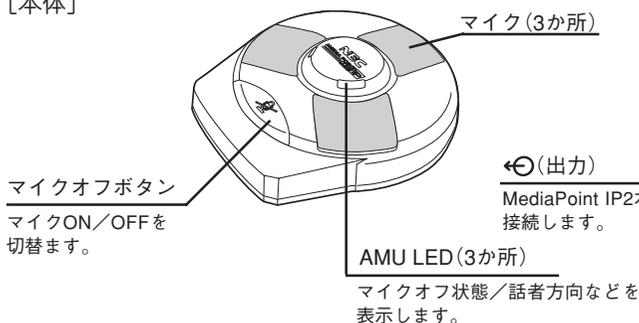
音量設定ボタン	マイクのON/OFFや音量調節をします。
---------	----------------------

⚠ 注意 使用上の注意を守ってください。

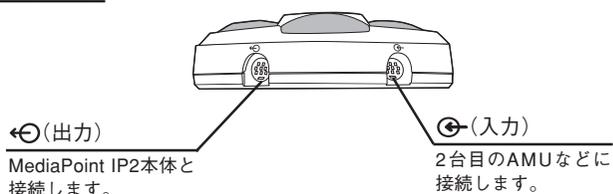
1. リモートコントローラは電池を入れてご使用ください。また、故障の原因となりますので電池を交換する際は、必ず(+)と(-)の向きを確かめ、2本同時に新しい電池を交換してください。
2. リモコン操作は、テレビではなく、MediaPoint IP2本体に向けて行ってください。

AMU

[本体]

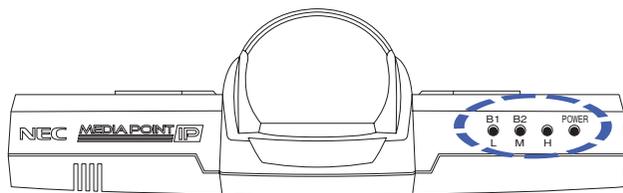


[背面]



ランプの説明

本体前面のランプで本装置の動作状態を表示します。



ランプ点灯条件

ISDN通信の場合

状態	B1/L	B2/M	H
1B目接続中	緑色点滅	-	-
1B目通信中	緑色点灯	-	-
2B目接続中	緑色点灯	緑色点滅	-
2B目通信中	緑色点灯	緑色点灯	-
着信中	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅

POWERランプ

状態	点灯状況
スタンバイ解除状態	緑色点灯
スタンバイ状態	橙色点灯

IP通信の場合

状態	B1/L	B2/M	H
接続中	橙色点滅	-	-
64-256Kbps未満で通信中	橙色点灯	-	-
256-768Kbps未満で通信中	-	橙色点灯	-
768-1920Kbps未満で通信中	-	-	橙色点灯
着信中	橙色点滅	橙色点滅	橙色点滅

AMUランプ

表示色	状態
赤色 (点灯)	マイクオフ状態を示します。
緑色 (点滅)	マイクオン状態を示します。 緑色点滅時は話者方向を検出してクリアな音声を收音します。
橙色 (点灯)	AMU接続ケーブルが誤って接続されている可能性があります。※1

※1 ケーブルの接続をお確かめのうえ、症状が変わらない場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。

セットアップ

1～5の手順で回線ケーブル、電源、周辺機器などの接続を行います。

1 回線ケーブルをつなぎます。

ISDN ISDN通信回線を使用する場合

1. 「ISDN」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
2. 反対側をTA(DSU)の「S/T」に差し込みます。

「S/T」は、接続する機器により「ISDN接続ポート」、「S/Tラインコネクタ」、「ISDN S/T点」等と表示されていることがあります。

▽終端抵抗スイッチ(100Ω)

TA(DSU)の終端抵抗をオフにした場合は、MediaPoint IP2の終端抵抗スイッチをオンにしてください。

IP IP通信回線を使用する場合

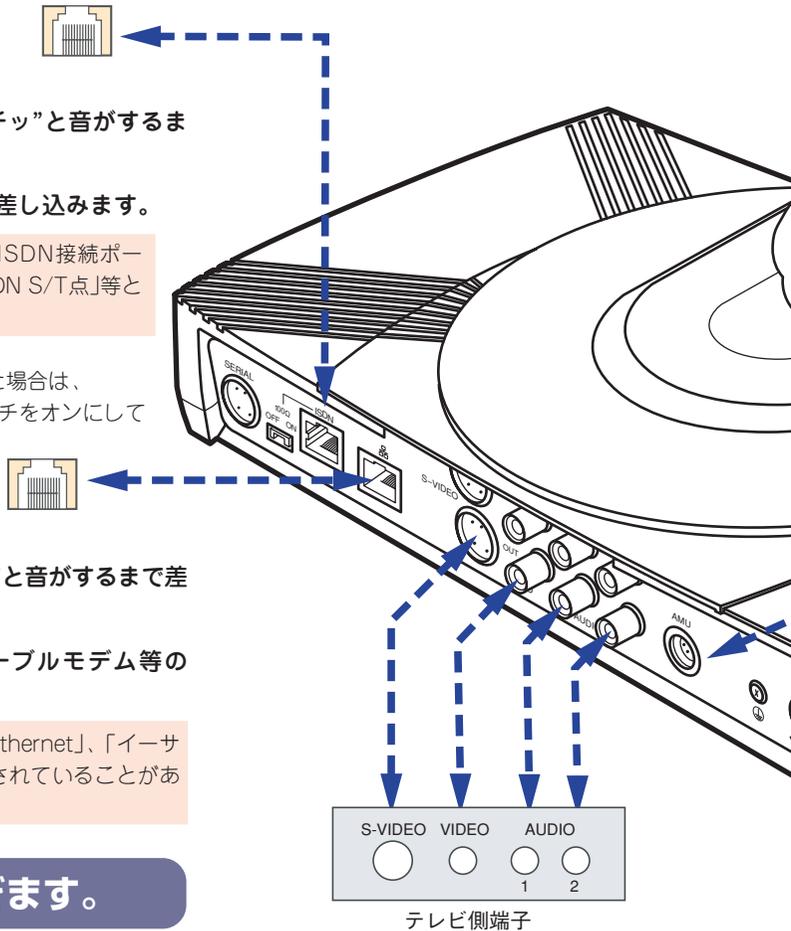
1. 「品」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
2. 反対側をADSLモデム、ケーブルモデム等の「LAN」に差し込みます。

「LAN」は、接続する機器により「Ethernet」、「イーサポート」、「LANポート」等と表示されていることがあります。

2 AVケーブルをつなぎます。

1. 「OUT」側の「VIDEO」、「AUDIO-1」、「AUDIO-2」にAVケーブルを差し込みます。
2. 反対側をテレビ外部入力の「VIDEO」、「AUDIO」端子に差し込みます。

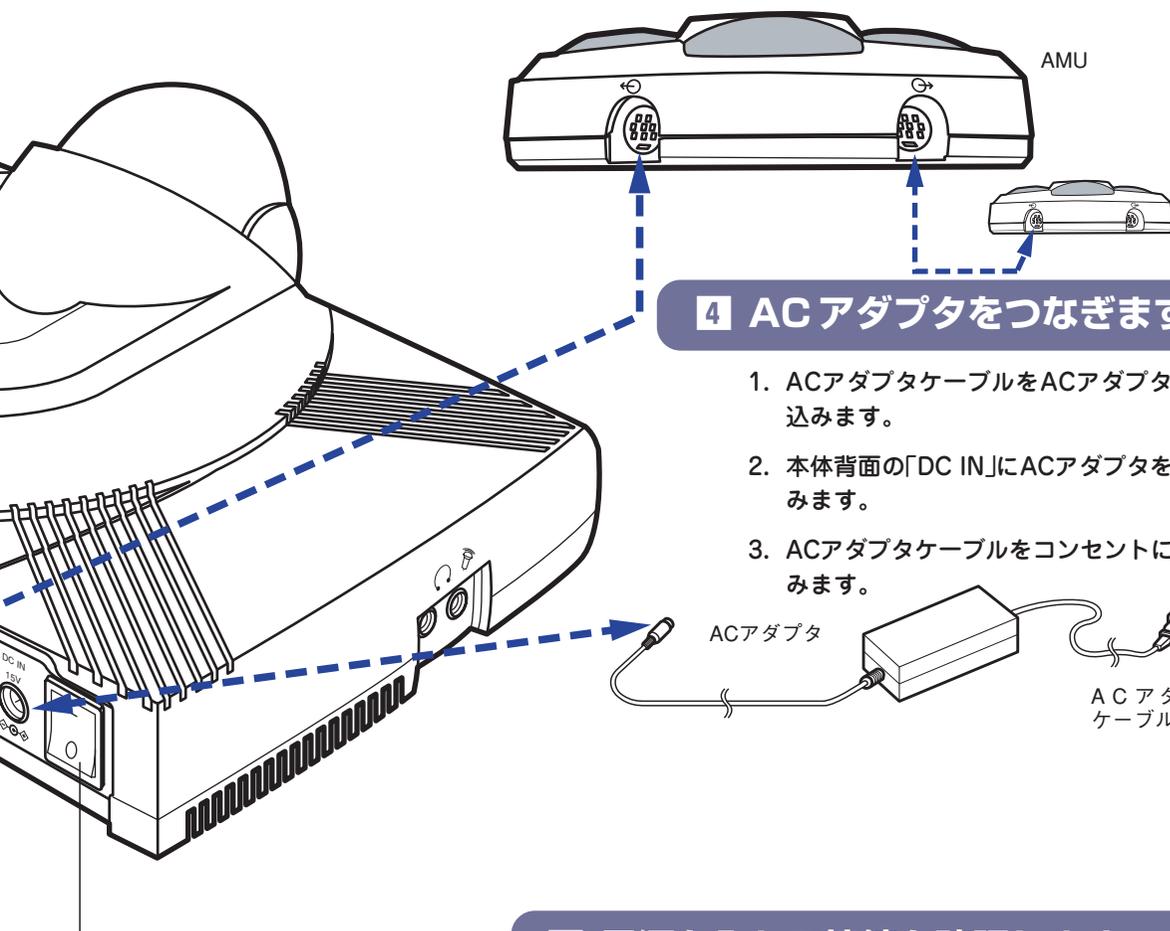
- 「S-VIDEO」を使用すると、より高画質な映像を表示することができます。接続するテレビに「S-VIDEO」が付いている必要があります。S-VIDEOケーブルは別にお買い求めください。
- テレビの「VIDEO」および「S-VIDEO」は、テレビにより「外部入力」、「VIDEO IN」、「ビデオ入力」、「映像入力」等と表示されていることがあります。
- 映像を表示するには、テレビ側のケーブルを差し込んだ端子とテレビのチャンネルまたは入力切替を合わせる必要があります。
例：「ビデオ2-映像」につないだ場合はテレビの入力切替を「ビデオ2」に合わせます。
- VTRなどを接続する場合の設定・接続方法は取扱説明書(2章「カメラ切替」)を参照してください。



3 AMUをつなぎます。

1. 本体背面の「AMU」にAMU接続ケーブルを差し込みます。
2. 反対側をAMUの「←⊖」に差し込みます。

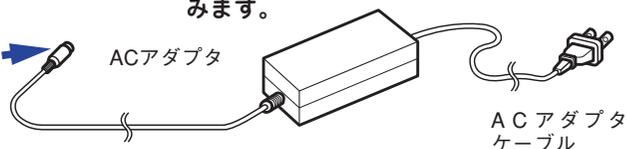
AMUを増設する場合、「⊕」にAMU接続ケーブルを差し込みます（AMUは最大で4台まで設置することができます）。



主電源スイッチ

4 ACアダプタをつなぎます。

1. ACアダプタケーブルをACアダプタに差し込みます。
2. 本体背面の「DC IN」にACアダプタを差し込みます。
3. ACアダプタケーブルをコンセントに差し込みます。

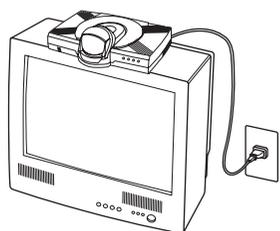


5 電源を入れて接続を確認します。

主電源スイッチをオンにすると前面のPOWERランプが緑色に点灯し、本体スピーカから起動音が鳴ります。
テレビの電源を入れ、AVケーブルを接続した端子にチャンネルまたは入力切替を合わせると、初期設定画面が表示されます。

画面に何も映らない場合は次のことを確認してください。

- テレビのチャンネルまたは入力切替が合っているか。
- AVケーブルの接続がゆるくなっていないか。
- 接続が間違っていないか。

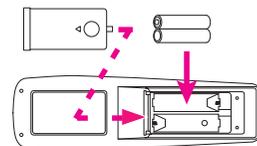


初期設定

本装置をご利用になる前に必要な設定を行います。

初期設定を行う前に、「セットアップ」(12ページ)を行ってください。

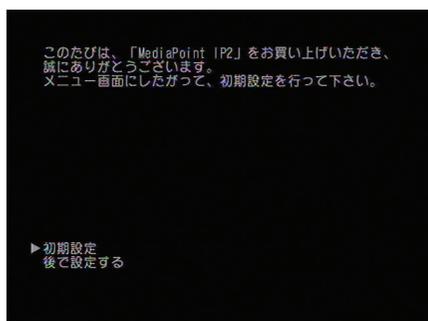
MediaPoint IP2の操作は、リモコンで行います。設定を行う前にリモコンに電池が入っていることを確認してください。



初期設定画面は、お買い上げいただいた後、最初の1回のみ表示されます。一度設定すると以降は表示されませんので、変更する場合は「メニュー画面」→「環境設定」→「システム設定」および、「メニュー画面」→「環境設定」→「ネットワーク設定」(21ページ)で変更してください。詳細は「MediaPoint IP2取扱説明書」を参照してください。

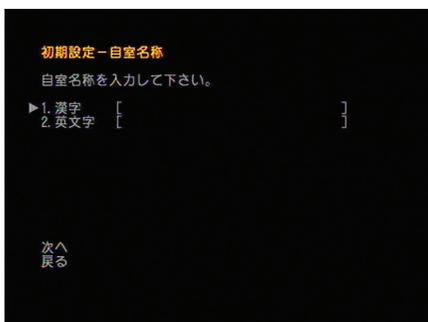
① 主電源スイッチをオンにします。

- ① セットアップ画面表示後、下記の画面にて、 Δ ∇ でカーソル(▶)を「初期設定」に合わせて \rightarrow を押します。



② 自室名称を入力します。

- ① 漢字・英文字を選び、 \rightarrow を押します。

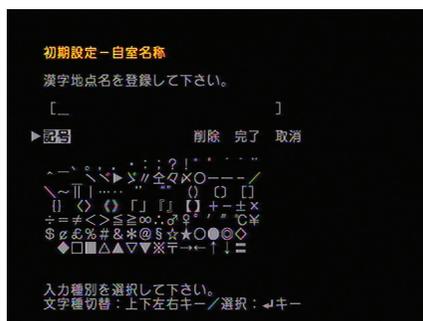


- ② 入力する文字の種類を Δ ∇ \leftarrow \rightarrow で選び、 \rightarrow を押します。

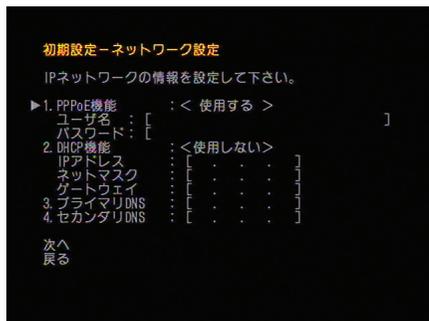
- ③ Δ ∇ \leftarrow \rightarrow で文字を選び、 \rightarrow で入力します。

- ④ すべての文字を入力したら、カーソルを「完了」に合わせて \rightarrow を押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせて \rightarrow を押し、修正する文字を削除してから入れ直します。



③ IP ネットワークを設定します。



① 「PPPoE」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

ご使用になるインターネットプロバイダによって、設定は異なります。

「使用する」を選んだ場合は「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

② 「DHCP機能」を選び「使用する」または「使用しない」を設定します。

「使用しない」を選んだ場合は「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を入力します。

③ 必要に応じ、プライマリDNSとセカンダリDNSを選び、DNSサーバのアドレスを入力します。

④ カーソルを「次へ」に合わせて  を押しします。

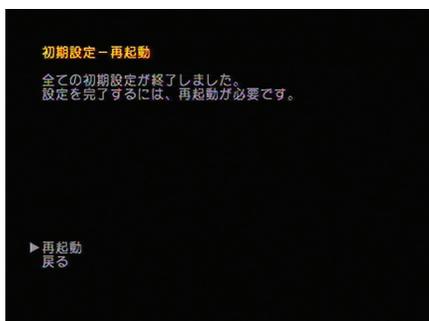
アドバイス

フレッツADSL、BフレッツのADSLモデム、回線終端装置に直接接続する場合は、PPPoEを「使用する」に設定してください。

ブロードバンドルータが接続される場合は、PPPoEを「使用しない」に設定して、DHCP機能を「使用する」に設定してください。

企業内IPネットワークで、IPアドレスが決まっている場合は、PPPoEを「使用しない」、DHCP機能を「使用しない」に設定して、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS」を設定してください。

④ 初期設定を完了します。



① 再起動を選び、  を押しします。

会議を行う

相手先との接続



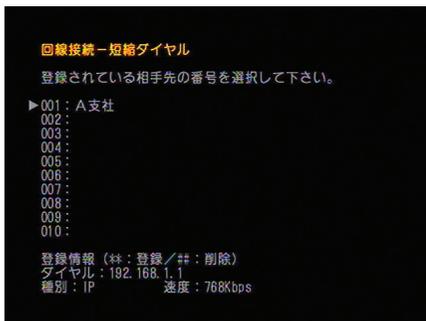
回線接続メニューで、「短縮ダイヤル」、「直接ダイヤル」、「リダイヤル」の3通りの接続方法を選べます。
 装置起動時には、回線接続メニューが表示されません。
 ISDN番号およびIPアドレスを設定または取得した場合は、自室ISDN番号、自室IPアドレスG(グローバル)、自室IPアドレスP(プライベート)が表示されます。

短縮ダイヤルで発信する。	よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておく、簡単に相手先と接続できます。あらかじめ相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを登録しておきます。「短縮ダイヤルを登録します」(18ページ)
直接ダイヤルで発信する。	相手先のISDN番号またはIPアドレスを直接入力して相手先を呼び出します。
通信履歴から発信する。	前に接続した相手先と簡単な操作で接続できます。

短縮ダイヤルで発信します。

- 1 を押します。
- 2 「Speed Dial」アイコン(短縮ダイヤル)を選び、 を押します。
- 3 相手先の短縮ダイヤル番号を選び、 を押します。

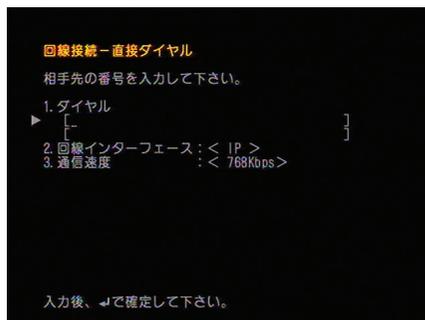
相手先を呼び出します。
 「短縮ダイヤルの登録」は(18ページ)を参照してください。



相手先と接続できない場合は、「切断理由コード」(23ページ)を参照してください。

直接ダイヤルで発信します。

- 1 を押します。
- 2 「Manual Dial」アイコン(直接ダイヤル)を選び、 を押します。
- 3 カーソルを「ダイヤル」に合わせます。



④ 数字キーで相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを入力します。

修正するときは修正する文字を で削除してから入れ直します。

サブアドレスは、同じISDN通信回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。入力する場合にはダイヤル番号の後に"*"を入力してからサブアドレスを入力します。

⑤ 回線インターフェースを選び、通信する回線によって「ISDN」、「IP」を設定します。

⑥ 通信する速度を決定します。

⑦ 設定が終わったら、 ボタンを押します。

相手先を呼び出します。

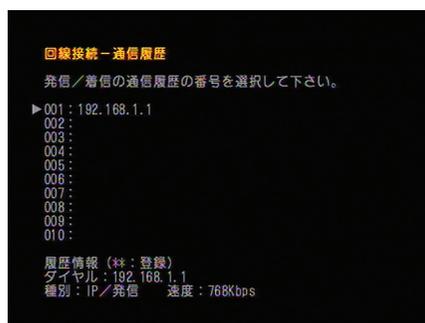
通信履歴から発信します。

① を押します。

② 「History」アイコン(通信履歴)を選び、 を押します。

③ リダイヤルする番号を選び、 を押します。

相手先を呼び出します。

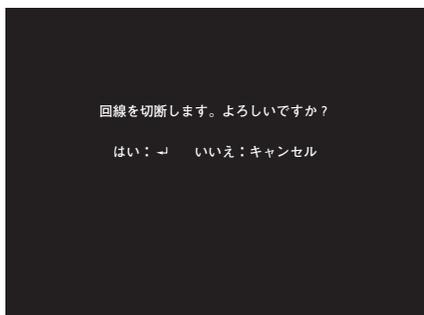


回線の切断

会議が終わったら、回線を切断します。

① 「回線切断」画面を表示します。

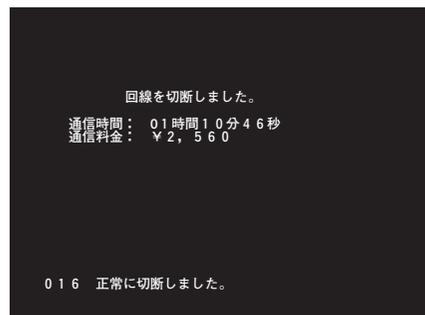
① を押します。



② 回線を切断します。

① を押します。

回線が切断されます。
通信料金はINS64の場合にのみ表示されます。



便利な機能

短縮ダイヤルを登録します

短縮ダイヤルに相手先のISDN電話番号およびIPアドレスを登録しておくことで、簡単な操作で発信することができます。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

① ^{メニュー}  を押します。

② 「短縮ダイヤル登録」を選びます。

① 「User Setting」アイコン(ユーザ設定)を選び、 を押します。

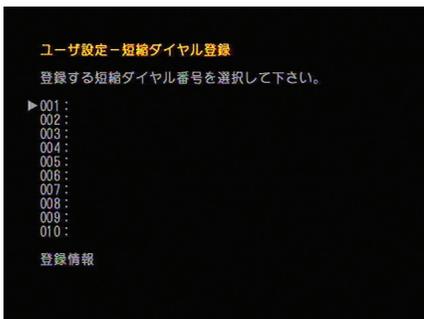


② 「Dial Entry」アイコン(短縮ダイヤル登録)を選び、 を押します。



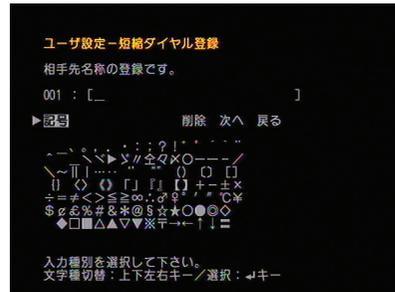
③ 短縮ダイヤル番号を選びます。

① 登録する短縮ダイヤル番号を選び、 を押します。



④ 相手先の名前を入力します。

① 入力する文字の種類を△▽で選び、 を押します。



② △▽◀▶で文字を選び、 で入力します。

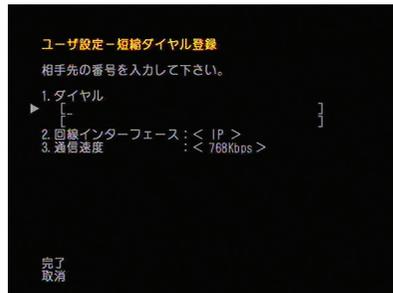
③ すべての文字を入力したら、カーソルを「次へ」に合わせて を押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせて を押し、修正する文字を削除してから入れ直します。

⑤ 相手先の電話番号またはIPアドレスを入力します。

① 数字キーで相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを入力し、「回線インターフェース」、「通信速度」を選びます。

IPアドレスの区切り(.)を入力するときは、 を押します。



② カーソルを「完了」に合わせて を押します。

修正するときは修正する文字を  で削除してから入れ直します。

音量を調節します。

受信音量を調節します。

を押すと音が大きくなります。

を押すと音が小さくなります。

自室のマイクをオフにします。

- 相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的にマイクをオフにします。

マイクオフ

を押すとマイクがオフになります。

もう一度^{マイクオフ}を押すとマイクがオンになります。

AMUでもマイクオフできます(マイクオフ中、AMUのAMU LEDが赤色に点灯します)。

カメラ操作をします。

カメラを操作します。～ズーム/パン/チルト～

を押すとこちら側のカメラを操作できます。

を押すと相手側のカメラを操作できます。

を押すと被写体が大きくなります。

を押すと被写体が小さくなります。

を押すとカメラのパン(左右動作)を行います。

を押すとカメラのチルト(上下動作)を行います。

システム設定

システム設定の中でも、主要な設定について説明します(詳細は「取扱説明書」(3章「環境設定」)を参照してください)。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

①  を押します。

② 「システム設定」アイコンを選びます。

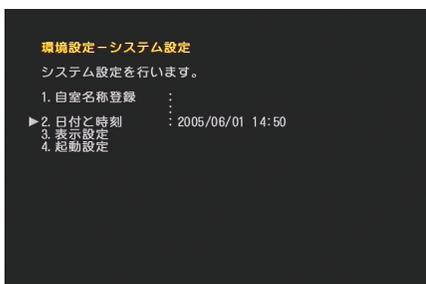
① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、 を押します。



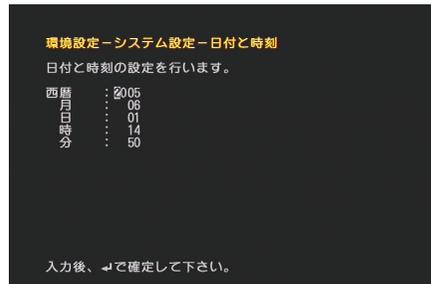
② 「System」アイコン(システム設定)を選び、 を押します。



③ 「日付と時刻」を設定します。



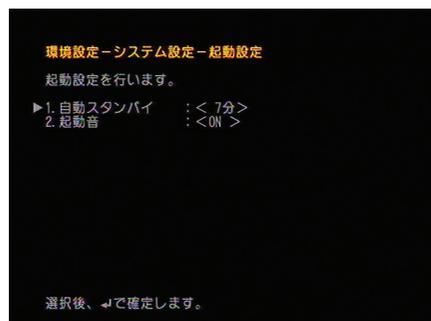
① 「日付と時刻」を選び、 を押します。



② 「西暦」、「月」、「日」、「時」、「分」にカーソルを合わせ、数字キーで入力後、 を押します。

④ 「起動設定」を設定します。

① 「起動設定」を選び、 を押します。



② 「自動スタンバイ」を選び、自動スタンバイに関する設定をします。

自動スタンバイを行うまでの時間を「OFF」～「10分」まで1分単位で設定できます。

③ 「起動音」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

④ 設定が終わったら、 を押します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定の中でも、主要な設定について説明します(詳細は「取扱説明書」(3章「環境設定」)を参照してください)。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

① を押します。

② 「環境設定」アイコンを選びます。

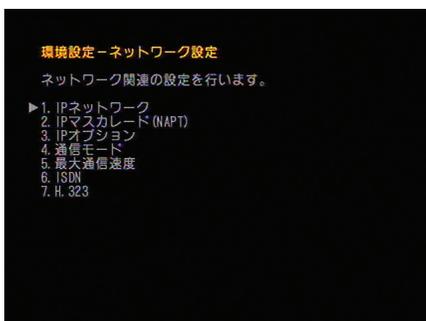
① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、を押します。



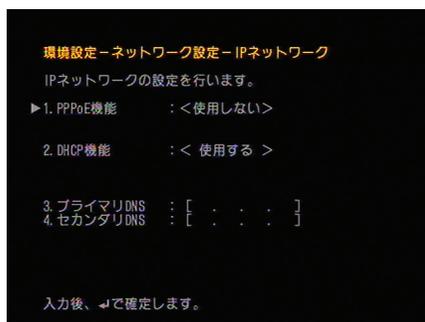
② 「Network」アイコン(ネットワーク設定)を選び、を押します。



③ 「IP ネットワーク」を設定します。



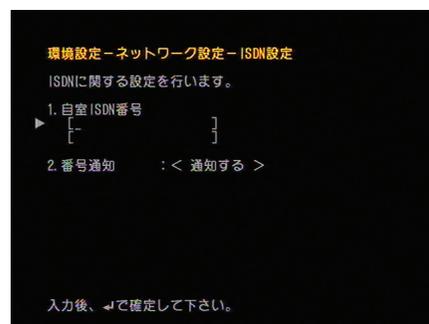
① 「IP ネットワーク」を選び、を押します。



「PPPoE」、「DHCP機能」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の登録手順は、「初期設定」の「③ IP ネットワークを設定します。」(15ページ)と同じです。
設定後、装置が再起動されます。

④ 「ISDN」を設定します。

① 「自室ISDN番号」を選び、ISDN回線の電話番号を入力します。



② 「番号通知」を選び、「通知する」、「通知しない」、「契約に従う」を設定します。

③ 設定が終わったら、を押します。

ポート番号

UPnP 対応ルーターの場合

MediaPoint IP2はUPnPをサポートしているため、UPnP対応ルーターの場合、自動的にポートマッピングを行います(ポートマッピングの設定は必要ありません)。詳細な設定に関しては、「取扱説明書」を参照してください。

UPnP 非対応ルーターの場合

以下のポートマッピング情報を設定してください。

TCP	1720
TCP	51000~51007
TCP	51100
UDP	61000~61017

ルーターの設定に関しては、ルーターの説明書を参照してください。

ポートマッピングはルーターにより、「ポートフォワーディング」、「静的IPマスカレード」、「アドレス変換テーブル」、「静的NAT」などと呼ばれています。

- プロバイダから固定IPアドレスをもらっていない場合は、時間とともにグローバルIPアドレスが変わる場合があります(通信の途中でグローバルIPアドレスが変わる場合もあります)。通信できない場合はルーターのWAN側グローバルIPアドレスを確認してください。
- プロバイダによっては、WAN側にプライベートIPアドレスが割り付けられる場合があります。その場合、グローバルIPアドレスを割り付けるサービスに加入する必要があります。業務でご使用になる場合は、固定IPアドレスを取得されることをお勧めします。固定IPアドレスのサービスについては加入されているプロバイダにお問い合わせください。
- PPPoEプロトコルを用いたプロバイダを使っていてADSLモデム/回線終端装置とルーターが別装置になっている場合は、ルーターのかわりにMediaPoint IP2を接続することで、通信を行うことができます。
- ルーター側で回線の切断を行った場合、しばらく通信ができなくなる場合があります。MediaPoint IP2を接続する場合は、ルーターでの通信ができるようになってから接続するようにしてください。

切断理由コード

通信中に回線が切断されると、テレビモニタの画面に3桁の数字(切断理由コード)とメッセージが表示されます。

以下の数字が表示された場合は、お客様ご自身で解決できる問題ですので、切断理由を参考に確認してください。

適用回線	メッセージ	切断理由コード	切断理由	処置(一例)
ISDN	この番号は現在使われておりません。	001	現在欠番のため、着信ができません。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
	使用可能な回線がありません。	002 003	指定中継網を認識できません。 相手へのルートがありません。	
	相手端末と通信できません。	006	指定されたチャンネルが利用できません。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
	このチャンネルは現在使用中です。	007	既に設定されているチャンネルに接続されました。	
ISDN IP	正常に切断しました。	016	呼の切断復旧要求により切断しました。	—
ISDN	正常に切断しました。	031	その他の正常状態報告により切断しました。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
ISDN IP	相手側が話中(通信中)です。	017	相手側が他と通信中です。	
ISDN	相手端末の応答がありません。	018	呼設定のメッセージに対して応答がありません。	相手側端末の状態を確認してください。
	相手を呼び出しましたが、誰も出ません。	019	呼出メッセージ受信後、応答がありません。	
		901	発呼時50秒経過しても応答がありません。	
ISDN IP	相手側に接続を拒否されました。	021	着信呼を拒否されました。	
ISDN	相手先の番号が変わりました。	022	相手の端末番号が変更になっています。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
	着信が取り消されました。	026	ユーザが着信呼を得られませんでした。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
	相手側の電源が切れています。	027	相手端末の電源が入っていません。	相手側端末の状態を確認してください。
ISDN IP	番号に誤りがあります。	028	無効なフォーマットまたは不完全番号です。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
ISDN	このサービスは現在利用できません。	029	要求のファシリティが提供できません。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。
		049	要求された品質(QOS)が提供されていません。	
		050	要求ファシリティの手続きがされていません。	
		058	現在、利用不可の伝達能力が要求されました。	
		065	要求の伝達能力をサポートしていません。	
		066	要求のチャンネル種別をサポートしていません。	
		069	要求の付加サービスをサポートしていません。	
079	サービス未提供です。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。		

適用回線	メッセージ	切断理由コード	切断理由	処置（一例）
ISDN	接続できませんでした。	030	状態問合せを受信しました。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
		043	アクセス情報要素を相手に送信できません。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
		057	未許可の伝達能力が要求されました。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。
		083	中断呼識別番号と異なる番号が使用されました。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
		084	使用中である中断呼識別番号が使用されました。	
		085	呼識別番号が使用されていません。	
		086	既に中断呼が切断されています。	
		095	その他の無効メッセージです。	
		096	必要な情報要素が不足しています。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。
		097	未定義/未提供メッセージを受信しました。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
		098	メッセージの不一致です。	
		099	情報要素が未定義です。	
		100	情報要素の内容が未定義です。	
		101	受信メッセージと呼状態が不一致です。	
		102	状態問合せを受信しました。	
		111	タイムアウトになりました。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
		127	その他の手順に誤りがあります。	
		916	内部状態（呼状態）が不一致です。	
	917	回線（レイヤ3）の初期化が未完了です。		
	918	回線（レイヤ3）の初期化に失敗しました。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。	
	919	内部状態（CES指定）が不一致です。		
	038	網が機能的に正常ではありません。（網故障）		
回線の異常です。	041	一時的に網が正常ではありません。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。	
相手側の回線の異常です。	042	交換機が混み合っています。		
ただいま回線が混み合っています。	047	その他の網が込み合っています。		

適用回線	メッセージ	切断理由コード	切断理由	処置（一例）
ISDN	相手端末との通信ができません。	044	通知された回線/チャンネルが提供できません。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
	この回線は現在利用できません。	063	その他のサービスが利用できません。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。
	56kモードしか利用できません。	070	要求伝達能力のうち、制限デジタル伝送能力のみサポートしていません。	
	もう一度おかけ直してください。	081 082	現在利用の呼番号と異なる呼番号が使用されました。 無効のチャンネル番号が使用されました。	相手の番号を確認して、おかけ直してください。
ISDN IP	相手端末の種類が違います。	088	端末装置の属性が一致していません。	
ISDN	使用可能な回線がありません。	091	中継網のフォーマットが正常ではありません。	回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。
	電話線が外れています。	903	発呼時、回線（レイヤ1）が異常です。	
	回線に異常があります。	904	発呼時、回線（レイヤ2）が異常です。	
		906	発呼時、回線（レイヤ3）が異常です。	
	回線異常か、契約が異なります。	905	回線が異常かまたは契約が異なります。	
	初期化により切断しました。	908	網から初期設定要求を受信しました。	
909		リスタート応答待ち時にタイムアウトとなりました。		
IP	回線がはずれているか、または異常です。	920	イーサネットリンク異常です。	LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	PPPリンク異常です。	921	PPPoEリンク異常です。	「ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の設定を確認してください。
	PPP認証異常です。	922	PPP認証異常です。	「ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の「ユーザID」「パスワード」が正しく入力されているか確認してください。
	自局IPアドレスが未取得です。	924	自局IPアドレス未取得または未設定です。	「ネットワーク設定」にて、「DHCP」設定ならびに「IPアドレス」設定を確認してください。
	IPアドレスが変更されました。	925	DHCP取得IPアドレスのリース期間が切れとなりました。	新しく取得したIPアドレスを確認してください。
	DNSサーバアドレスが未取得です。	926	DNSのIPアドレス未取得または未設定です。	DNSサーバアドレスの通知がありません。契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。
	要求URLがDNSに未登録です。	927	要求URLがDNSに未登録です。	ネットワーク管理者に確認してください。
	ゲートキーパーが見つかりませんでした。	930	ゲートキーパーが見つかりませんでした。	ゲートキーパー設定およびゲートキーパーサーバを確認してください。

適用回線	メッセージ	切断理由コード	切断理由	処置（一例）
IP	ゲートキーパーに登録できませんでした。	931	ゲートキーパーに登録できませんでした。	ゲートキーパー設定を確認してください。
	ゲートキーパーから参加を拒否されました。	932	ゲートキーパーから参加を拒否されました。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
	接続相手が見つかりませんでした。	933	接続相手が見つかりませんでした。	接続相手側端末の状態および番号を確認してください。
	IP接続設定に誤りがあります。	935	IP接続設定に誤りがあります。	「ネットワーク設定」にて、設定を確認してください。
	TCPコネクションが確立できませんでした。	936	相手端末と通信できません。TCPコネクションが確立できませんでした。	回線および相手側端末を確認してください。
	TCPコネクションにタイムアウトしました。	937	相手の応答がありません。TCPコネクションでタイムアウトが発生しました。	回線および相手側端末を確認してください。
	相手呼び出ししましたが、誰も出ません。	938	相手呼び出ししましたが、誰も出ません。	しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。
	回線に異常があります。	939	IPが混み合って、通信速度が低下しました。	回線状況により通信帯域が低下して回線が切断される場合があります。

故障かな？

症状	対策
POWERランプ (緑) が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> MediaPoint IP2本体にACアダプタが接続されているか確認してください。 ACアダプタが電源コンセントに接続されているか確認してください。 電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、再度電源コンセントに接続してください。
テレビの画面に何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> テレビのチャンネルまたは入力切替を確認してください。 ビデオケーブルの接続がゆるくなっていないか確認してください。 MediaPoint IP2本体の主電源スイッチがONになっているか確認してください。 MediaPoint IP2本体の「POWER」ランプが橙色に点灯 (OFFの状態) していないか確認してください。リモートコントローラの電源ボタンを押して緑色に点灯 (ONの状態) することを確認してください。 カメラの設定が、使用するカメラ (カメラ1/カメラ2) になっているか確認してください。
画像が乱れている	<ul style="list-style-type: none"> ビデオケーブルの接触がゆるくなっていないか確認してください。 IP回線でベストエフォート型の回線を使用している場合には、回線が混雑すると通信中に画像が途切れたり、止まったりすることがあります。混雑していない回線を使用してください。
画面の端が切れている	<ul style="list-style-type: none"> テレビの画面表示位置がずれている可能性があります。テレビで画面表示位置の調節を行ってください。
スピーカから相手の声 が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最低になっていないか確認してください。 相手のマイクがオフになっていないか確認してください。
自分の声が相手に伝 わらない	<ul style="list-style-type: none"> AMUがマイクオフになっていないか確認してください。 AMUの適性な集音性能は半径1メートル程度に設定されています。AMUから1メートル程度の距離でお話してください。
ハウリングがおこる	<ul style="list-style-type: none"> AMUを壁や遮へい物のそばから離してください。 スピーカやマイクロホンをふさいでいないか確認し、適当な音量に調節してください。
AMUランプ (橙) が点灯したまま	<ul style="list-style-type: none"> AMU接続ケーブルが間違っって接続されていないか確認してください。
リモコンが効かない	<ul style="list-style-type: none"> MediaPoint IP2本体に向けて操作してください。 リモートコントローラの電池が切れていないか確認してください。 電池を交換する際には、正しい向きで2本同時に新しい電池と交換してください。
相手先とつながら ない	<ul style="list-style-type: none"> 回線ケーブルがつながっているか確認してください。 IP回線でルーターに接続している場合は、ルーターの設定がH.323で通信ができるように設定されているか確認してください。 「切断理由コード」 (23ページ) を参照して対処してください。

アフターサービス

修理を依頼するときは、次のことをお知らせください。

- お名前、住所、電話番号
- 機種名：MediaPoint IP2
- 型番：TC-2200C／TC-2200N
- ご購入年月日
- シリアルナンバー(本体製造番号)：本体底面に記載(「取扱説明書」(6-2ページ)を参照)
- 故障の状態(できるだけ詳しく)

アフターサービスについて

- 修理を依頼する前に、もう一度本書および取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご依頼ください。

VoicePointセンター

フリーダイヤル 0120-343010

E-mail mp@nece-it.jp.nec.com

ホームページ <http://www.nec-eng.com/>

仕様

MediaPoint IP2

項目		仕様
国際標準 対応	端末 画像符号化 音声符号化	H.320、H.323 H.261、H.263、H.264 G.711 (3.4kHz)、G.722 (7kHz)、G.728 (3.4kHz)
通信	回線インターフェース ISDN IP (Ethernet) 通信速度 ISDN IP (Ethernet)	BRI 10BASE-T/100BASE-TX (LAN、光ファイバー、ADSL、ケーブルテレビなど対応) B (64Kbps)、2B (2x64Kbps) 64~1920Kbps※ 1
映像	内蔵カメラ (カメラ内蔵モデルのみ) Video出力 Video入力 解像度 フレーム数	47万画素CCDカメラ、電動 (PAN/TILT) 光学2倍/デジタル2倍ズーム RCA x 1、S-VIDEO x 1 RCA x 1、S-VIDEO x 1 CIF (352 x 288)、QCIF (176 x 144)、静止画 (704 x 576) 最大30フレーム※ 2
音声	AMU AUDIO出力 AUDIO入力	エコーキャンセラ内蔵マイクを標準添付 RCAx2 RCAx2
制御	システム制御 Irリモコン シリアル 外部カメラ制御	専用リモートコントローラを添付 DIN 8PIN、調歩同期、9.6Kbps~115.2Kbps シリアルポートに電動カメラを接続可能 (SONY EVI-D100など) リモート制御可能
諸元	質量/寸法 電源 動作環境	1.5kg以下/約280mm (幅) x 200mm (奥行き) x 80mm (高さ) ACアダプタ (100~240V) / 約25W (AMUを含む) 温度: 5~35℃、湿度: 20~80% (結露無きこと)

※1 H.261で通信した場合、最大通信速度1920Kbpsとなります。H.263/H.264で通信した場合、最大通信速度768Kbpsとなります。

※2 H.261で通信した場合、30フレームとなります。H.263/H.264で通信した場合、15フレームとなります。

AMU (Advanced-Microphone Unit)

項目		仕様
音声 入出力	本体接続コネクタ インターフェース コネクタ方式 内蔵マイク	専用デジタル音声インターフェース (7kHz帯域) 専用コネクタ (専用ケーブルで接続) 本体3か所に内蔵
表示	操作キー LED表示	マイクオフボタン マイクLEDx3、マイクオフ状態/話者方向などを表示
音声処理	符号化方式 エコー制御方式 エコーキャンセラ エコーサプレッサ ABF (Adaptive Beam Forming) 機能	16bitリニアPCM/7kHz 7kHz帯域 適応動作 話者方向を推定し、背景ノイズを抑圧するとともに話者レベルを最適化
諸元	質量/寸法 電源	500g以下/約130mm (幅) x 145mm (奥行き) x 42mm (高さ) 4W以下 (MediaPoint IP2本体より供給)

オプション品

オプション	品番
外付けカメラ（ケーブル無し）	PST-CAM2
カメラ制御ケーブル（3m）	TC-2100-C01
パソコン制御ケーブル（3m）	TC-2100-C02
専用リモートコントローラ	TC-2100-RC
AMU	TC-2200AMU
AMU接続ケーブル（10m）	TC-2200-MC10

保証書

保証書について

- この製品には保証書がついています。
- ご購入時に「販売店名・保障期間・購入年月日」が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。販売店記入がない場合は領収書を提示していただくことがありますので、領収書と一緒に保管してください。
- 保障期間はご購入日から1年間です。
- 保証書を紛失したり、分解や改造したりすると保障期間内であっても修理は有料になります。また、修理できないことがあります。

保障期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保障期間経過後の修理は

- 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により、有料で修理させていただきます。

製品名：	
シリアルナンバー（本体製造番号）：	
型番：	
ご購入年月日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年間
販売店名	印
お名前	
ご住所	
電話番号 ()	

保証規定

- このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。保証期間内に、お客様の正常なご使用のもとで万一故障した場合、本保証書記載の内容に従い故障箇所を無償修理致します。
 - 修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。
 - 保証期間内でも次のような場合には、有償修理となります。
 - 保証書の提示がない場合、または必要事項の記入がない場合
 - お買い上げ後の輸送、移動時の落下やお取り扱いが不適当なため生じた故障
 - 不当な修理や改造または異常電圧に起因する故障
 - 使用中に生じた傷、汚れなど外観上の変化
 - 火災、地震、水害、落雷、および盗難などの災害による故障または損傷
 - 付属品の交換
 - 保証書は日本国内においてのみ有効です。また、保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - 本製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

NECエンジニアリング株式会社

MediaPoint IP2に関する技術的なお問い合わせ

VoicePointセンター

フリーダイヤル：0120-343010

E-mail：mp@nece-it.jp.nec.com

●E-mailでもお問い合わせを承っております。

URL <http://www.nec-eng.com/>

<NECエンジニアリングの事業全般についてのお問い合わせは下記へ>

コーポレートセールス推進部 営業部

〒108-0023 東京都港区芝浦3-18-21

TEL.03-3798-7329

©NEC Engineering, Ltd. 2005

NECエンジニアリングの許可なく複製・改版などを行うことはできません。

本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。